

## 個人組のチームリーダーについて

### 【はじめに】

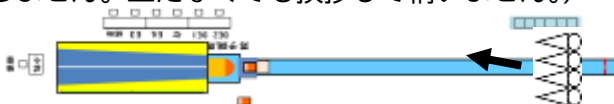
- ・チームリーダーを務める監督は、(1)～(3)を参考に競技中の選手の引率・指示をお願いします。  
(中体連では、競技中の引率を外部指導者がすることを認めていません。)
- ・プログラムで各組の一番上に書かれている選手の監督がチームリーダーになります。ただし、同じ組の監督同士で話し合い了承が得られれば、チームリーダーを交代することを認めます。

- (1) 指定の時間になったらアリーナに入場し、指定された選手席に座るように指示してください。  
・表示されている開始種目の席に座ります。(入場も放送で指示があります)
- (2) 放送の指示に従って、各種目の開始前に各種目のD 1 審判の前まで移動させてください。

放送の指示でD 1 審判に挨拶をします。主な流れは次の通り

- ① 各種目に移動させて、D 1 審判の前に整列させます。(1 列に並ばせます。)
- ② 進行の「選手は挨拶をして、練習を始めてください」のアナウンスで、チームリーダーはD 1 審判に挨拶の号令をかけ、選手はチームリーダーの号令に合わせて挨拶をします。  
(選手の代表に号令をかけさせても構いません) プラカードを生徒役員に渡す。
- ③ 最後の選手の演技が終了したら、選手席の前に整列させ、挨拶をします。  
器具および審判員に対してあいさつしてください。生徒役員からプラカードを受け取る。  
(審判が採点中は立ちません。立たなくても挨拶して構いません。)

※ 跳馬の場合➡



助走路上になってもかまいません。審判の方を向く

### ○ 号令の例

- 団体 → 開始の号令 → 「〇〇中学校 ゆか お願いします」  
          終了の号令 → 「〇〇中学校 ゆか 終わります」  
個人 → 開始の号令 → 「1 班4 組 ゆか お願いします」  
          終了の号令 → 「1 班4 組 ゆか 終わります」                    など

### ○ 選手あいさつの例

- 号令後、開始のあいさつ → 「お願いします」  
号令後、終了のあいさつ → 「ありがとうございました」    など

※選手は礼だけでも構いません。

※個人は挨拶後にプラカードを生徒役員に渡してください。

- (3) 各種目が始まる前に、演技順(団体はオーダー用紙、個人組はスタートリスト)を確認し、それに従った順番で演技するよう選手に指示してください。
- ・個人組の演技順は、種目ごとのローテーション(演技順が変わります)になります。
  - ・手元にスタートリストがない場合は、プログラムで確認願います。